

第6回 日本遺産「里沼」テーマ別 タスクフォース情報共有会議

- 1)日時 令和3年12月28日(火)9:00～10:00
- 2)場所 館林市役所3階政策審議室
- 3)出席 副市長・館林市役所「里沼」関係課職員(企画課長・秘書課長・文化振興課長、係長+担当級)
- 4)副市長あいさつ

当会議は日本遺産「里沼」の推進体制の一端を担っており、係長・担当級という各分野で実際に活躍できるメンバーで構成されている。各分野の事業を「里沼」というキーワードでつないぎ、広く、そして深くまちづくりを推進・発信していきたい。

5)各チーム報告

	各 TF チームの取組み報告	質問・意見等	方向性
1	沼辺土地活用チーム (都市計画課・道路河川課・緑のまち推進課) 沼辺周辺の土地活用に関して、候補となる事業者に対して意向調査や聞き取りを実施した。 中沼 におけるバーベキュー サイトの運営を開始。4～11月 うち8～10月はコロナ閉鎖 で48件の利用があった。当郷町城沼北岸 善長寺前の芝生広場の整備も昨年度完了した。	—	—
2	日本遺産ロゴ使用・商品ブランド化チーム (商工課・農業振興課・日本遺産PJ) 今年度はロゴ使用商品化が新規で6件あった。日本遺産申請時の地域活性化計画のKPI (令和6年度終了時までに累計30件)は早くも達成。引き続きブランド化に向けて取組む。 館林紬に焦点を当てたワークショップを各種開催した。織物組合だけでなく事業者やアーティスト、小学生、館林高校・館林女子高生とも連携し館林紬を用いた新たな商品化に向けた流れをつくりたい。 農商工連携を目的としてかごめ六斎市にて地場産野菜・百年小麦使用和菓子を販売。各事業者への聞き取りも実施しマッチングを行っている。また、各事業者と純館林産小麦の製品化実証実験も行い、製品化のモデル化の確立に取組んだ。11/23「まちなかフェス」では館林駅連絡通路にてマルシェも開催した。 百年小麦ブランド化委員会では、認定こども園等への食育事業、小・中学校等への給食導入などを行った。また、館林商工高校と連携した小麦生産・収穫体験や商品販促活動を実施した。	【文化振興課】各課業務でも「里沼」と関連づけてぜひロゴやブランドを活用し、積極的なPRを図って欲しい。	【企画課】6次総合計画の将来都市像で「里沼」が位置付けられている。本市の全ての施策に関係する事項なので、引続き推進をお願いしたい。
3	体験型観光関係チーム (つつじのまち観光課・道路河川課・日本遺産PJ) 群馬県主催の城沼水面利用者協議会はコロナで開催できず水面利用ルールは未策定。一方で支障のない範囲で一般参加者募集のカヌー講座を今年度から開講。次年度はスタッフ養成も行う予定。 つつじ観光バス(株)運行タクシーへのPRマグネット貼付、WEBフォトコンテスト、東武鉄道との共催事業として「里沼巡りウォーキング」を開催した。参加者2,000名だが、更にシニア層への訴求を高め、飲食店への波及まで繋げたい。1～3月には館林紬名刺の販売や観光ガイドブックの更新に取組む予定。 令和2年度の両毛3市シンポジウムを受けて、桐生市・足利市との連携事業も進めている。2/5(土)・6(日)に桐生市有鄰館で日本遺産イベント開催予定。3市長のパネルディスカッションのほか、展示会・物販・観光PR等も行う予定。 文化振興課で商品・ツアー造成を目的とした民間事業者向けのフックづくりのためのマーケティングを実施中。また、2月上旬には旅行会社・メディアを対象とした調査を観光課で実施予定。報告書が納品され次第供覧し、関係課の事業展開の一助としたい。	—	—
4	里沼グローバルトランスミッションチーム (秘書課・日本遺産PJ)		

	<p>10月に茂林寺沼散策マップを発行。12月から税務課でご当地ナンバーの交付も開始された。2月には上毛新聞「ぐんま愛」への情報掲載も予定。PR媒体や印刷物等による情報発信も順次進めている。</p> <p>市内外で「里沼」PRのための各種展示会も実施した。10～12月に第一資料館企画展「沼辺のたから」、9～11月の館林美術館企画展「たてびレポート」(館林バトン・ハヤシガモリ)では2名の芸術家とコラボ。</p> <p>WEBサイトやSNSなどを随時更新したほかAR里沼のコンテンツ強化や群馬ダイヤモンドベガスとの連携事業も実施。市公式動画チャンネルにて「里沼巡りウォーキング」とのコラボ動画も作成・配信。</p>	—	—
5	<p>水辺環境保全チーム（地球環境課・緑のまち推進課・農業振興課・文化振興課）</p> <p>市内河川・沼の水質は令和2年の城沼(鶴生田川上流)でBOD9.1。水質浄化に向けて多々良沼→城沼への導水ポンプがあるが故障中。県館林土木事務所が令和3年秋に修繕を完了させた。</p> <p>水質浄化装置ナノバブル導入に向け先進地(青森県三沢市姉沼、東京都江戸川区行船公園、千葉県習志野市藤崎森林公園)を視察。導入に向けて次年度も継続調査を行う。</p>	—	—
6	<p>その他</p> <p>前回開催(令和3年2月)から期間も開き、上位機関である推進協議会やヌマベーション連絡協議会の動きと、市体制の変化を踏まえ、今後のタスクフォースの進むべき方向性を確認した上で進めた方がいいのではないか？</p>	<p>【文化振興課】推進協議会は3・8月にコロナを考慮し書面会議形式で開催した。次回は委員任期満了となるため、令和4年3月に招集開催を予定。ヌマベーション連絡協議会は昨年11月にキックオフし、現在は地域プロデューサーと各TFチームで個別事業を展開しているところ。2～3月に地域プロデューサー同士で現状報告する場を設けたい。</p>	<p>【企画課】引続きタスクフォースにて取組んで行きたい。</p>

6)副市長総評

各チームとも細部まで取組んでいることが理解できた。今後どのように住民やメディアに伝えていけるかが重要と考えている。館林市の日本遺産「里沼」をどう広めて、身近に感じてもらえるか、各チームで更に掘下げて分析して欲しい。現状では広く市民に浸透しているとは言い難く、非常に勿体ない。そのためにも各チーム、各課で知恵を出して取組んで行って欲しい。次回(第7回)は、3月中旬に開催することとした。